

大阪市会市政報告

Vol.

07

2025.03
春号

【編集・発行】大阪市議員 荒木はじめ 【発行元】荒木はじめ事務所 〒534-0015 大阪市都島区善源寺町2-3-28 電話 (06)6978-4056 【発行日】令和7年(2025年)3月22日

Osaka City Council Member

大阪市議員 荒木はじめ

元都島区長 自民党・市民クラブ議員団 政調会長 都市経済委員会 委員 環境対策特別委員会 委員

都島に住んで40年

- 住んでいるからわかることがある
- 大切だから守りたいものがある
- 大好きだからやりたいことがある



はじめに

大阪関西万博が4月13日から10月13日までの184日間、夢洲を会場として開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン」をメインテーマに最先端の技術と世界の英知が結集し、新たなアイデアを創造・発信する場とされています。

基本計画では、

計画 01 海と空を感じられる会場

計画 02 世界中の「いのち輝く未来」が集う万博

計画 03 未来の技術と社会システムが見える万博

計画 04 本格的なエンターテインメントを楽しめる万博

計画 05 快適・安全安心・持続可能性に取り組む万博

とされています。

チケットの販売状況やWEBでの入場手続きやパビリオン予約の複雑さ、会場の建設状況や敷地内でのガス発生など心配ごとは多くありますが、55年前に開催された吹田の万博では「月の石」を一目見ようと多くの入場者で会場は超満員でした。現在、大阪市役所正面玄関の“ミャクミャク”の前では、記念撮影されている観光客の姿を多く見かけます。万博への関心も増して来ていると感じています。今回の万博も多くの人で賑わう事を祈っています。



続報

介護保険料について

大阪市の介護保険料は全国一高額です。全国平均の6,225円に対し大阪市では月額介護保険料は9,249円と全国最高額です。全国20の政令指定都市でも群を抜いて高額となっています。その原因は多様ですが、大阪市の特徴として**高齢者比率が高い、低所得者が多い、高齢の単身世帯が多い**などです。大阪市会の3党派(自民、公明、くらし)では、昨年春からプロジェクトチームを立ち上げ、調査・研究してまいりました。その結果を取りまとめ、昨年末の12月23日にプロジェクトチームから市長に対して緊急の要望をいたしました。また、この問題を解決するには大阪市単独で解決できる問題ではないので、国に対しても要望をいたしました。令和7年2月19日に厚生労働省に伺い、プロジェクトチームから福岡厚生労働大臣に対して、**介護保険料の財政負担や大阪市への調整交付金の増額、一般財源からの繰り入れ、そして、現場のケアマネジャーさんの処遇改善などについて要望**いたしました。**大臣からは、「地域にあった介護体制のあり方を考えたい」との回答**がありました。**高齢化の進展に伴い、介護の問題はますます重要**となります。大阪市会の自民党は地域の皆様の福祉の向上ために、これからも全力で取り組んで参ります。



▲荒木から福岡資麿厚生労働大臣に要望書を手渡しました(右 福岡厚生労働大臣)

駐輪場の整備について

事務所にご相談があり、都島駅北側の市道に自転車駐輪場の整備を進めています。このエリアは人通りが多いエリアですが、自転車の路上駐輪が多く、高齢者や車いすの皆さんの通行の妨げとなっていました。3月末までに整備を進めます。



令和7年度 大阪市の予算 について

大阪市の予算案は現在、大阪市議会で議論されています。**総額2兆309億円(一般会計)の予算で、5年連続で予算は増加**しました。しかし、今回も**収支は150億円の不足**となりました。大阪では、平成14年に、当時の磯村市長により、「財政非常事態宣言」が出され、それ以降、財政再建に取り組んできました。平成16年には**5兆5千億円もの市債(借金)がありました**が、現在は**2兆8634億円まで減少**しました。今回、**大阪・関西万博の経費は304億円**予算計上されています。0~2歳児の保育料無償化に向けた取り組みとして**35億円が計上**され、第2子保育料無償化で増加が見込まれる保育ニーズに対応するために**保育所等の整備に83億円が計上**されました。自民党は**地域の安全・安心のための経費や高齢者福祉や地域コミュニティ、そして大阪の経済発展にも力を注いでまいります。**

【大阪市の予算】令和7年度一般会計予算

歳入 2兆309億円 歳出 2兆309億円

歳出の主な内容

- 福祉費 6,892億円 (33.9%)
- こども青少年費 3,118億円 (15.4%)
- 教育費 2,316億円 (11.4%)
- 土木費 1,479億円 (7.3%) などです。

【都島区の予算】471,576千円(まちづくり推進費)

- 安全・安心のまちづくり 22,918千円
- 人と人がつながり助け合うまちづくり 97,894千円
- 明日に誇れるまちづくり 65,777千円
- 区役所力の強化 83,769千円
- 庁舎管理運営・一般事務費 201,218千円

万博来場者むけ サポートデスクについて



今回の大阪・関西万博は、チケット購入から来場予約や、パビリオンやイベント予約はWEBでとされて、**高齢者にとっては非常にハードルが高い**ものとなっています。この間、大阪市でも来場者サポートデスクは巡回で設置されていますが、常設で開設されているものではありません。今回の議会での質疑でも、自民党から**常設で設置されるサポートデスクの設置を要望**いたしました。サポートデスクでは、入場券の購入から入場日の予約、パビリオンの予約、シャトルバスの予約まで、**すべての予約ができるシステムのワンストップ「サポートデスク」の設置を要請**しています。

続報 都市再生 緊急整備事業について



前号でもお伝えしましたが、**平成29年に都市再生緊急整備地域に追加指定された京橋駅周辺**は、令和5年10月に部会が設置され、昨年1月から会議が開催されてきました。昨年の12月には、(仮称)大阪城公園周辺地域まちづくり方針(素案)として発表され、**「京橋駅周辺」や他の2エリアの「ビジネスパーク駅周辺」・「森の宮駅周辺」のまちづくり方針(素案)**が示されました。今後、本方針をもとに、**国際競争力を強化した都市再生の推進や、民間都市開発等を推進して、この地域が特定都市再生整備地域に指定されるよう検討を進めていく**とされています。3月の予算市会においても、都市経済委員会で荒木から質疑をし、担当局からは**このエリアを大阪の東西軸の新たなヒガシの拠点として位置づけ、各エリアを一体的に捉えて「国際観光拠点の強化」・「国際的なイノベーション拠点の形成や国際人材の育成環境の整備」・「人・モノ・情報の交流促進」をめざしていく**と回答され、**特定地域の指定をめざして検討を進める**ための調査費が計上されました。

市内全域路上喫煙禁止について

令和7年1月27日から、大阪市内は全域路上喫煙禁止とされています。これは、大阪・関西万博の開催を見据え国際観光都市にふさわしい環境美化を推進することを目的に市内全域の路上喫煙禁止に取り組もうとしたものです。この条例を改正する際、条例が施行される条件として、**市内に140箇所の喫煙所を確保すること**としていました。1月に開催された大阪市会環境対策特別委員会で、荒木から質疑をしています。施行日現在、環境局からは官民合せて170箇所確保されたと市会で答弁されましたが、大阪市が設置した公設喫煙所は約50箇所、市が補助して設置したものが120箇所です。当初の目標は達成されていますが、**公設の喫煙所は都島区内では、都島中央公園一か所のみ**です。残りは京橋地域に補助設置した4か所です。**路上喫煙禁止は市の道路、公園、広場などが対象の抜け穴だらけの条例**となっています。**行政として、責任をもって喫煙対策を進め喫煙所の整備を進めるよう議会でも要望**しました。

大阪メトロ中央線の ワンマン化について



万博会場への唯一の鉄道路線である**大阪メトロ中央線が、2月11日からワンマン運転**となっています。**万博開催中は6両編成に1000人近くが乗車され、2分30秒間隔**で運行されます。これは御堂筋線と同じ間隔で運行されるものです。万博では府下の学校から、児童・生徒が多数参加されます。昨年春にこの計画が公表され**学校現場では大変な議論**となってきたところです。そのような状況の中、**大阪メトロ社が敢えてワンマン運転にされたのか疑問**です。大阪メトロは、ホーム柵や停止装置をはじめとする安全装置を導入しており、国の了承も得ていると報告していますが、なぜ、この時期からワンマン化を実施するのでしょうか。議会でも、**市長や大阪メトロ社に対して安全最優先の対応を強く要請**しました。

笑顔あふれるまち都島へ
地域の皆様の声に耳を傾け、都島のまちづくりを進めます
市政相談所
市政に関することはお気軽にご相談ください



大阪市会議員 荒木はじめ事務所

〒534-0015 大阪市都島区善源寺町2-3-28
電話 (06)6978-4056/FAX (06)6978-4057

荒木はじめHP▶

